学　界　消　息

1. 電子計算機室完成

去る12月15日電子計算機室の仮引渡式が行われた．2月一杯で電子計算機704型の設置，調整を終え，3月1日から運転の予定である．

2. アメリカ気象学会東京支部設立

関東地区で活躍している気象学者間の学術交流をはかり，西太平洋における気象学的な問題の研究を促進するためアメリカ気象学会東京支部（the Greater Tokyo Branch）が設立された．関東地区在住のアメリカ気象学会員を正会員とし，その他の協賛者を準会員とする．初会合は去る12月15日芝の女子会館で行われ，関係者約200人が出席した．支部長にはロバート大佐（第10気象隊長），副支部長には荒川秀俊博士が選ばれた．

3. ブディコ教授にレーニン賞

1958年度レーニン賞の授賞者の1人にソ連気象局中央地球物理観象台長ブディコ教授が選ばれた．同教授はWMO気候専門委員会の一員で，地球表面の熱平衡に関するすぐれた業績を発表している．

〔雲　鏡〕　予報者と予報解説

三大新聞の一つY新聞の随想欄に評論家K氏がスポーツ放送と題してスポーツ解説放送のリアリズム的手法の重要性等について述べているが，その中で次のようなことを言っている．「こんなふうに，アナウンサーの手がこんでくると，スポーツならなんでもござれといった幅の広い天才などは到底期待できなくなる．スポーツ解説の領域だけに限って見ても，アナウンサーの分業は必然である……」．この文中のアナウンサーを予報者にスポーツ解説を天気予報解説におきかえてみると面白いと思った．天気予報なら，山の予報でござれ，海の予報でござれ，短期の予報であれ，長期の予報であれ，何でも出来る（かなりの精度をもって）天才的予報者は期待できない．予報の利用面（農業，漁業，海運業，陸運業，工鉱業，建築業，時期的生活必需品生産販売業等々）が多岐にわたっている今日，それぞれの利用者が最も必要とする要素（気温，湿度，風，降水量等）をタイムリーに予報し，その予報根拠をもとにして適切な解説を行う予報解説の領域だけに限っても予報者の分業化が考えられる．医者の診断にも外科，内科，神経科……などそれぞれ専門家があると同じように，天気診断にも，その利用部門に対して専門家があってもよさそうだ．これら分業化した予報者が，それぞれの担当分野の実体を把握してこそ，防災上大きな役割を果すことができ，予報が真に民生に役立ってくるし，このような領域を確立することによって気象技術者の活動範囲も社会的に拡大されるのではなかろうか．

こ と の は 異 聞

先日，米人を囲んで歓談した席で，たまたま大気中の自然放射能に関聯した現象について話が進み，Nolan氏の業跡にふれた時のことである．

日本流に「ノーランさんは……」と言ったのであるが，当の外人さんは怪訝な顔をして，こっちの話が通じない．この人を知らない筈がないと思い，繰返し反復しても話がちっとも進まない．

「どうも，話に　ノラーン　ね」とつぶやいたところ――，これをいち早く小耳にはさんで

「OH！　ノーラン　I know him……」

あとは竪板に水のようにまくしたてられこっちが往生したことはいうまでもない．　（柊生）